

柳井町 学生年明け祭り

日時：平成22年1月9日 12:30~14:00

場所：柳井町商店街「地参地笑市」前

参加団体：松山大学 学生地域研究サークル「五友の会」

：松山大学 邦楽部

：愛媛大学 落語研究会

：柳井町再生プロジェクト 「STEADY CREW」



年が明けた柳井町商店街では、今年最初の イベント「柳井町学生年明け祭り」が開催されました。学生と地域のお年寄りから子どもまでが一緒になってイベントに取り組みました。

12:30~ 餅つき

13:30~ 落語

14:00~ お箏の生演奏

9:30、松山大学御幸キャンパスに到着しました。この日の出演団体は、松山大学邦楽部と愛媛大学落語研究会の皆さんです！まずは、邦楽部の楽器運びからスタートしました。



お餅つきや、お箏、落語も、とにかく初めてのイベントです。試行錯誤しながら舞台や餅つきの準備をしました。（臼を洗っているのはコバと張君です。張君は留学生で初めてのお餅つきを楽しみにしていました。）

準備では、舞台設置班と餅つき班に分かれました。
 舞台設置班のほうは、紅白幕を吊って、プログラムを設置し
 お花を飾りました。そして店内にお箆を運んでチューニングをしました。

(プログラムは、内藤さんのお母さんの自信作です→)

餅つき班は、臼・杵・台を熱湯で洗って消毒し、餅を入れる台にサランラップをかけました。
 そしてテントの設置も行いました。



(準備の様子)

お餅つきの時間が近づくと、
 こどもたちが集まってきてくれました！
 そして商店街が
 彼らの遊び場になりました！
 お箆を触らせてもらったり、
 杵を持ったり、
 あっちこっちをウロチョロしたりと、この場がさらに明るくなりました。



12:30、ついにお餅つきがスタートです。
 ここでお餅つきの指導をなさってくれたのは・・・、
 「上田先生」と「大井先生」です!!!
 学生に餅つきの手順を知っているものがいなく、
 お客さんだったお二人と一緒に参加してくれました(笑)



(上田さん、大井さん、本当にありがとうございました 感謝)

お餅つきの手順（来年のために）



（餅つきの順番を決める！
じゃんけんポン！）



杵で餅をこねる



つきます！

↓



きなこをまぶして
「ぱくっ！」



丸め込むように形を作り
ちぎっていきます



餅とりこを引いて、中に粉を
入れないように丸め込みます

新年を祝って景気よく皆さんの11連発です！ 「よいしょっ！」



13:30~

落語の上演が始まりました。披露してもらったネタは
「ガマの油」です。

商店街にたくさんの笑いが生まれ、見に来ていた
皆さんの顔がにこやかになりました！

出演者は愛媛大学の

好乃家 歌父ん（よしのや かーとうん）さんです。

（毎年この時期に新春寄席を行っているので、是非調べてみてください）



14:00~

お箏の生演奏が始まりました。

本日演奏してもらった曲は、

- 1、飛躍
- 2、海に見える街・崖の上のポニョ
- 3、さくら さくら
- 4、花かけ変奏曲
- 5、上を向いて歩こう

です。お馴染みの曲が多く、子どもから
お年寄りまで楽しんでいただいていたのが印象的でした。

「次は、お月見で聞きたいわ」と地元の方の声も寄せられました。

そして最後は恒例の「賄いタイム」学生の皆さんのお楽しみです！



演奏と落語の上演、お疲れ様でした！！



柳井町イベントは今回が三回目です。
11月に行った第一回目のイベントは、
お客さんが片手で数えられるほどだったことを
よく覚えています。
それを考えると
少しずつ、本当に少しずつですが、
柳井町商店街には賑わいが生まれ始めました。

学生の活動はたかが知れていますし、活動が地域活性化に繋がる可能性はとても低いのも現状です。
しかし、「何もしないと始まらない、そう思ってジタバタするだけでもいいんじゃないか、」
と思います。そのジタバタによってほこりが舞う、それが唯一できることだからです。

イベントによって履物が
三足売れました。

その時の履物屋さんのおばあちゃんの
笑顔が印象的でした。

子どもたちがイベントで
楽しんでくれました。

柳井町商店街が遊び場になりました。

イベントで商店街とは
まったく関係ない地域の人が、
子どもたちにお餅つきの指導を
行ってくれました。

小さな小さな交流が生まれました。

学生が柳井町商店街で
想い出ができました。

「大学生活で一番楽しい活動をしている」
といってくれました。

柳井町商店街にたくさんの
小さな芽が出てきています。



柳井町商店街のイベントに協力してくれた、

商店街の方々、地域の方々、学生のみなさん、
STEADY CREWメンバーのみなさん、本当にありがとうございました。

報告者 宮田 潤